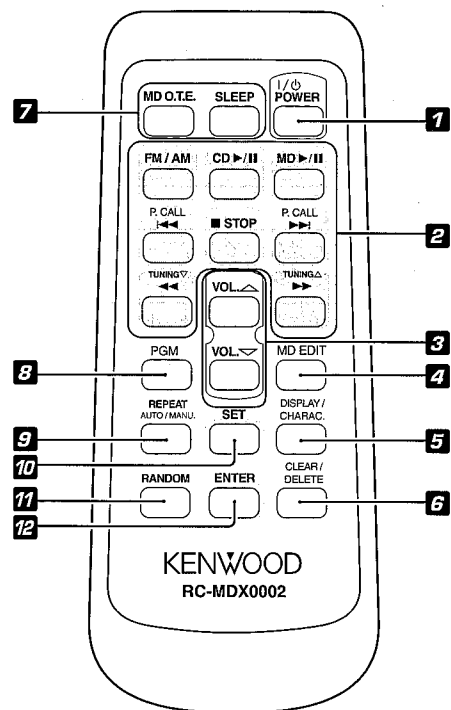
リモコン

本体部と同じ名称のキーは本体部と同じ働きをします。

1. POWER I/⏻
2. FM/AM(14)
   CD ▶/II(再生/一時停止)(16)
   MD ▶/II(再生/一時停止)(18)
   |◀◀ P. CALL ▶▶|(スキップ)
   ■STOP(停止)
   ◀◀ TUNING ▽
   ▶▶ TUNING △
3. VOLUME △/▽ (17)
4. MD EDIT(41)
5. DISPLAY/ CHARAC.(23)
6. CLEAR/DELETE(30、41)
7. MD O.T.E.(22)
   SLEEP(58)
8. PGM (30)
9. REPEAT(31), AUTO/MANU.(21)
10. SET(13)
11. RANDOM(32)
12. ENTER(15)

カッコ内の数字は参照ページです。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター (東京) 電話 (03)3477-5335 FAX (03)3477-5334) 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
カスタマーサポートセンター (大阪) 電話 (06)6394-8085 FAX (06)6394-8308) 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22
アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ最寄りのサービス窓口にご相談ください。

KENWOOD

RAMPAGE

ミニディスク パーソナル ステレオシステム

取扱説明書

MDX-G1

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
使用者の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

MDLP

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-5054-00 01 (MA) (J) FE 0102

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このシンボルマークのある製品はケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

ドルビーラボラトリーズの米国および海外特許に基づく許諾製品

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

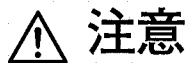
安全上のご注意

⚠ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⦸記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

⚠ 警告

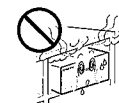
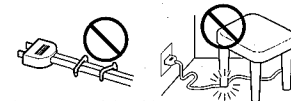
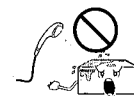
交流100ボルト以外の電圧で使用しない

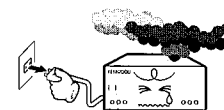
この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

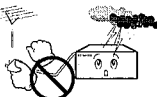
⚠警告

電源プラグは清潔に

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

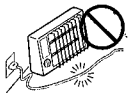
落下した機器は使わない

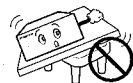
機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

電池は放置しない

電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

⚠注意

電源コードを熱器具に近付けない

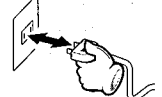
電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠注意

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて

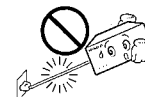
はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

３年に１度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドのサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

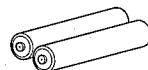
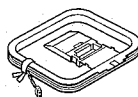
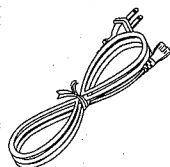
移動させる際は

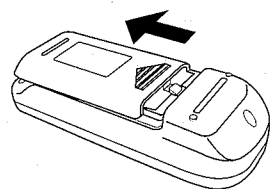
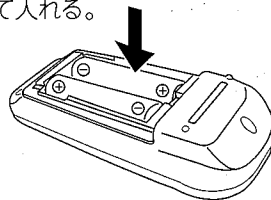
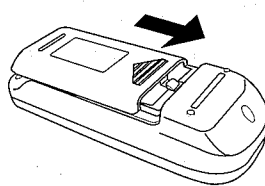
移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電池の取扱い

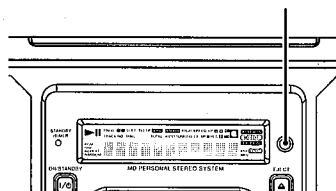
電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

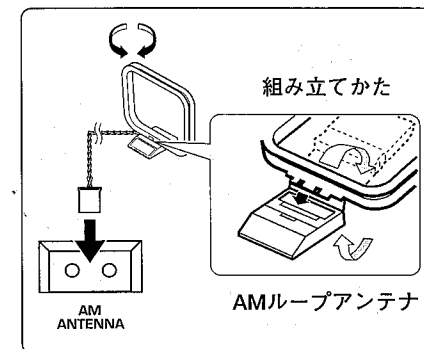
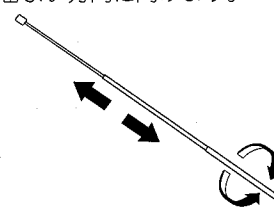
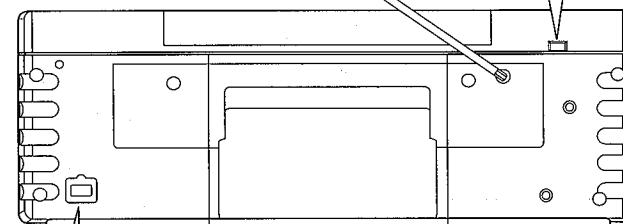
- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 液が漏れた場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

接続する

付属品を確かめる

電源コード（1個）　AM ループアンテナ（1個）　リモコン（1個）　リモコン用単3乾電池（2本）

リモコンに乾電池を入れる

(1) リモコン裏面の乾電池ぶたを開く。

(2) 単3乾電池2個を極性マークに合わせて入れる。

(3) 乾電池ぶたを閉める。

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。あらかじめご了承ください。
- リモコンで操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために設置場所を変えてください。
- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、1秒以上の間隔をあけて押してください。
- リモコンの操作範囲の目安は、本体のリモコン受光部から約6m以内です。本体のリモコン受光部の正面に向けて操作してください。

付属品を接続する

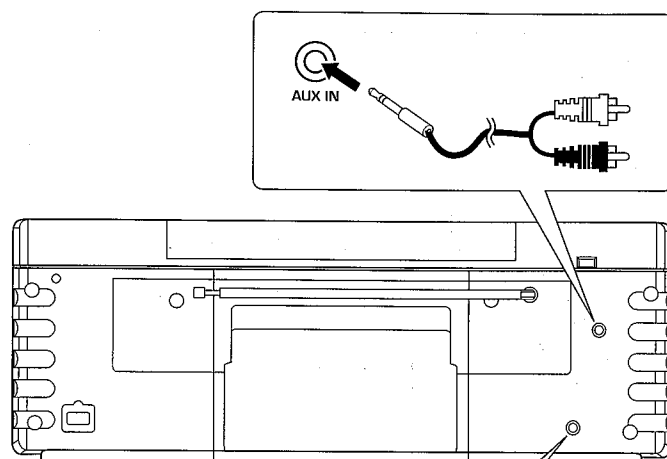
付属のアンテナは室内用です。TVや電源コードなどからなるべく離れたところで、受信状態の一番良い方向に向けます。

付属の電源コードをAC100V、50/60Hzの電源コンセントへつなぎます。

- 電源コードを抜くときは、壁側のプラグから先に抜いてください。

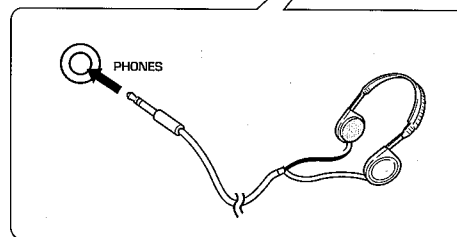
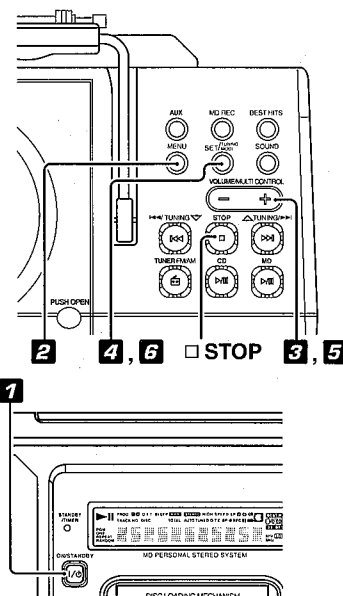
POINT

- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなることや、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しするときは、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。
- テレビの近くに置かないでください。スピーカーの磁気により、テレビに色ムラが発生することがあります。
- 電源コードを抜きするときは、必ずスタンバイ状態（71ページ）にしてください。

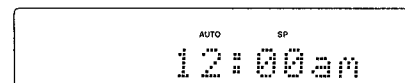
次ページに続く→

他の機器を接続する

AUX（外部機器）

別売のMDプレーヤー、カセットデッキ、イコライザー内蔵のレコードプレーヤー（P-110等）などをステレオミニプラグ付きのオーディオケーブル（別売）を使って接続します。

- AUX IN端子は入力端子です。外部機器への録音はできません。
- 外部の機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- レコードプレーヤーを接続して、本機のすぐ横に置いた場合、音量を大きくしたときなどに"ワーン"というハウリング現象が起きる場合があります。この場合は、本機とレコードプレーヤーの間隔を離してお使いください。
- 外部機器の入力レベルは調整することができます。（29ページ）

ヘッドホン

別売のステレオミニプラグ付きのヘッドホンをつなぎます。

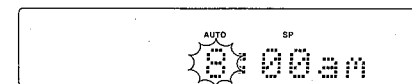
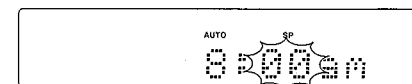
- スピーカーで聴くときは、ヘッドホンをPHONES端子から外してください。

時計を合わせる

タイマー機能を利用できるように、本機の時計を合わせてください。時間は12時間表示で表示されます。

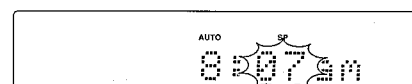
本体のみ

1 ON/STANDBY I/⏻ キーを押して、電源を入れる

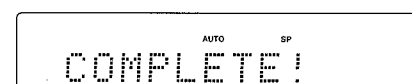
2 MENUキーを2秒以上押す

AUTO SP
12:00am

3 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"時"を合わせる

午前8時7分に合わせる例

AUTO SP
8:00am

昼の12時は"12:00pm"、夜の12時は"12:00am"と表示されます。

4 SET/TUNING MODEキーを押す

AUTO SP
8:00am

5 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"分"を合わせる

6 SET/TUNING MODEキーを押す

AUTO SP
COMPLETE!

時刻を確認するには

スタンバイ状態中（71ページ）に□STOPキーを押します。

POINT

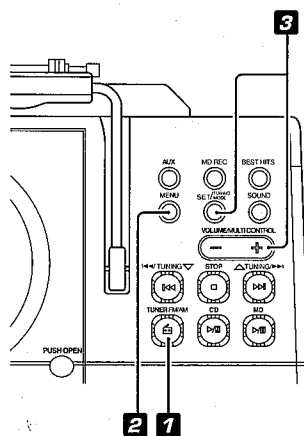
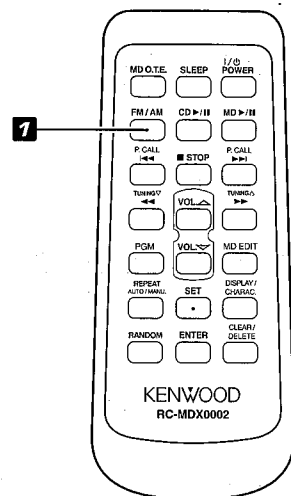
- 停電があったときや、電源プラグをコンセントから抜いたとき、またはSTANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅しているときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- 手順6で時報と同時にSET/TUNING MODEキーを押すと、正確な時刻合わせができます。

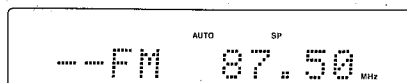
準備編

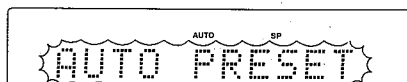
放送局を記憶させる

オートプリセット、マニュアルプリセットあわせて最大30局まで記憶させることができます。

放送局を自動的に記憶させる

（オートプリセット）

1 TUNER FM/AMキー（リモコンはFM/AMキー）を押す

--FM 87.50 MHz

2 MENUキーを押す

3 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、AUTO PRESETを選び、SET/TUNING MODEキーを押す

AUTO PRESET

オートプリセットが始まり、表示部に"AUTO PRESET"が点滅します。
先にFM放送局をメモリーし、次にAM放送局をメモリーします。

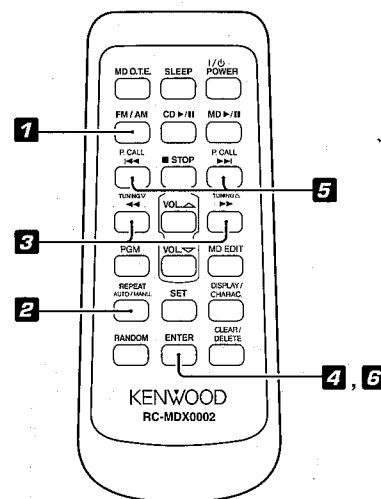
POINT

- 新たにオートプリセットで自動設定すると、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。
- お住まいの地域によっては、選局された放送局を良好に受信できない場合があります。

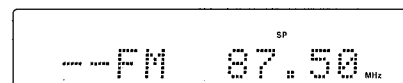
オートプリセットで放送局が記憶されないときは、マニュアルプリセットで記憶させてください。（15ページ）

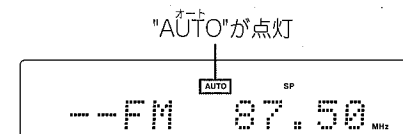
放送局を手動で記憶させる

（マニュアルプリセット）

お好みの放送局だけを選んで、1局ずつ記憶（プリセット）できます。

リモコンのみ

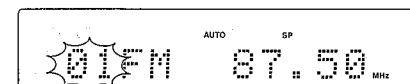
1 FM/AMキーを押して、"FM"または"AM"を選ぶ

--FM 87.50 MHz

2 REPEAT/AUTO/MANU.キーを押して、"AUTO"を点灯させる

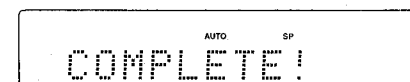
"AUTO"が点灯

3 ◀◀TUNING▽キーまたは ▶▶TUNING △キーを押して、記憶させたい放送局を受信する

4 受信中にENTERキーを押す

5 "--"が点滅中に、|◀◀P.CALLキーまたは▶▶|P.CALLキーを押して、プリセットナンバーを選ぶ

01FM 87.50 MHz

|◀◀P.CALLキーまたは▶▶|P.CALLキーを押したままにすると、プリセットナンバーをスキップします。

6 ENTERキーを押す

COMPLETE!

続けてプリセットするには

手順1〜6を繰り返します。

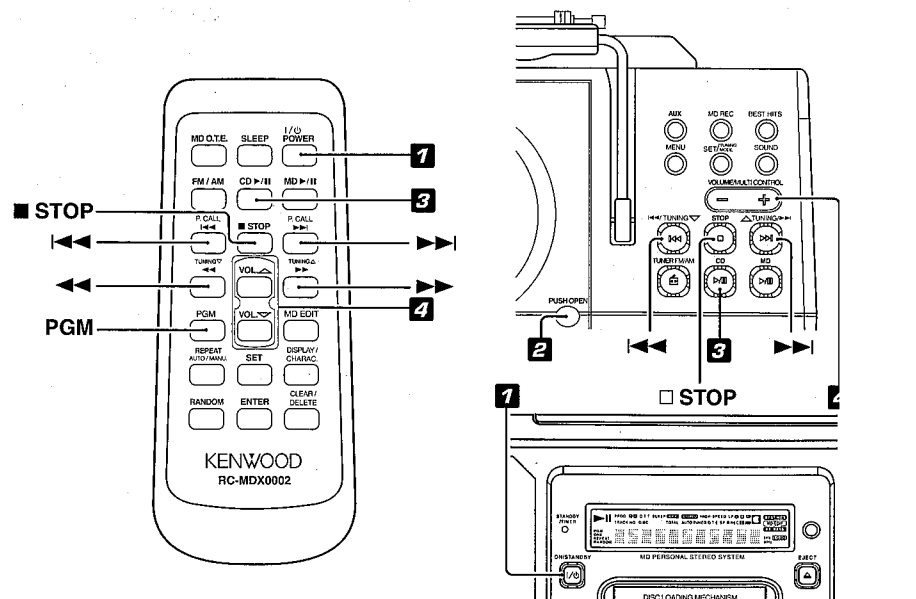
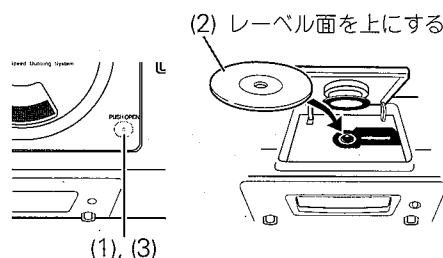
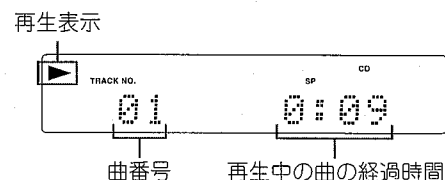
電波の弱いラジオ局をプリセットするには

電波が弱い場合は手順2でREPEAT/AUTO/MANU.キーを押して"AUTO"を消灯させ、マニュアル選局にします。

POINT

- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

CDを聴く

CDを再生してみましょう。

1 ON/STANDBY I/⏻ キー(リモコンは I/⏻ POWERキー)を押して、電源を入れる

2 CDを入れる

CDは水平に置いてください。斜めに置くと、故障の原因となります。

(1) CDドアのPUSH OPEN部分を押して、CDドアを開ける。

(2) CDを入れる。

(3) CDドアのPUSH OPEN部分を押して、CDドアを閉める。

(1), (3)

(2) レーベル面を上にする

3 CD ▶/IIキーを押す

4 VOLUME/MULTI CONTROLを押して、音量を調整する または、リモコンのVOL. △/▽キーを押し調整する

キーの操作

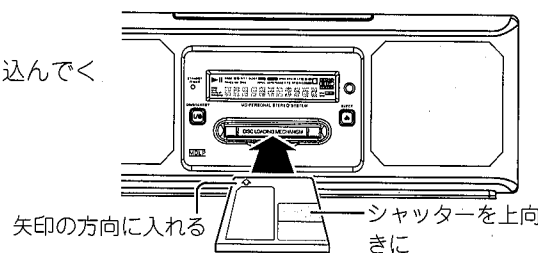
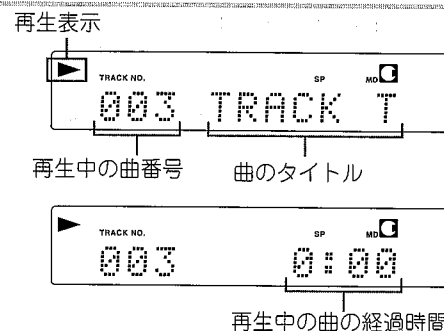
目的	操作
停止する	■STOPキーを押す。
一時停止する	CD ▶/IIキーを押す。もう一度押すと再生を始めます。
曲を飛び越す	次の曲を選ぶときは、▶▶Iキーを押す。 前の曲を選ぶときは、I◀◀キーを素早く2回押す。
早送りをする	再生中リモコンの▶▶キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
早戻しをする	再生中リモコンの◀◀キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
好きな曲から聴く	聴きたい曲番号をスキップ▶▶I/I◀◀キーを使って選びます。 "PGM"が点灯しているときは、ストップ状態でリモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

ディスクを取り出すには

■STOPキーを押し、再生を止めてから、CDドアのPUSH OPEN部分を押して、CDドアを開けます。

POINT

- 無理にCDドアを開閉すると、故障の原因となります。
- あらかじめCDを入れておくと、スタンバイ状態中(71ページ)にCD ▶/IIキーを押すだけで電源が入り、再生が始まります。(ワンタッチオペレーション)
- 再生できるCDについては、「本機で使用できるディスクについて」(60ページ)をご覧ください。

MDを聴く

MDを再生してみましょう。

1 ON/STANDBY I/⏻ キー(リモコンは I/⏻ POWERキー)を押して、電源を入れる

2 MDを入れる

MDを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

3 MD ▶/❚❚ キーを押す

4 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、音量を調整する または、リモコンのVOL. △/▽キーを押し調整する

キーの操作

目的	操作
停止する	■STOPキーを押す。
一時停止する	MD ▶/❚❚キーを押す。もう一度押すと再生を始めます。
曲を飛び越す	次の曲を選ぶときは、▶▶❙キーを押す。 前の曲を選ぶときは、❙◀◀キーを素早く2回押す。
早送りをする	再生中リモコンの▶▶キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
早戻しをする	再生中リモコンの◀◀キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
好きな曲から聴く	聴きたい曲番号をスキップ▶▶❙/❙◀◀キーを使って選びます。 "PGM"が点灯しているときは、ストップ状態でリモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

ディスクを取り出すには

■STOPキーを押し、再生を止めてから、≜EJECTキーを押します。

MDの再生モード表示について

MDの曲は、録音したときのモードにしたがって再生されます。再生が始まると、再生モードが表示されます。

- **SP** ：標準ステレオ録音した曲(*MDLPに対応していないMDレコーダーで録音した曲)を再生しているとき
- **LP2** ：ステレオ2倍長時間録音した曲を再生しているとき
- **LP4** ：ステレオ4倍長時間録音した曲を再生しているとき

再生モード

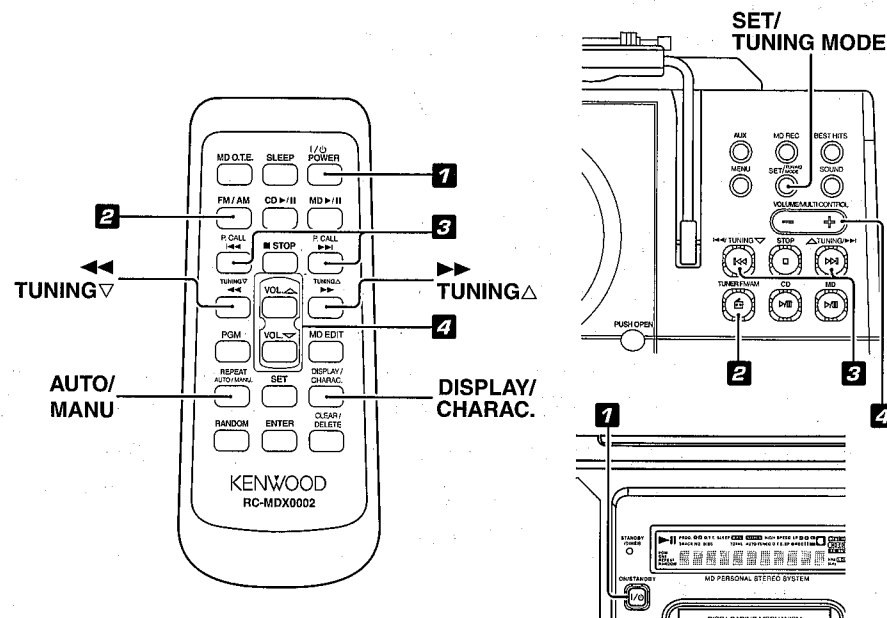
TRACK TT

* MDLPは、MD規格に適合した新しい音声圧縮方式ATRAC3を採用して、ステレオ2倍(または4倍)長時間録音・再生モードの機能を持ったMDレコーダーやMDプレーヤー、またはATRAC3 による音声録音されているMDメディア(再生専用MD)に表示されています。

POINT

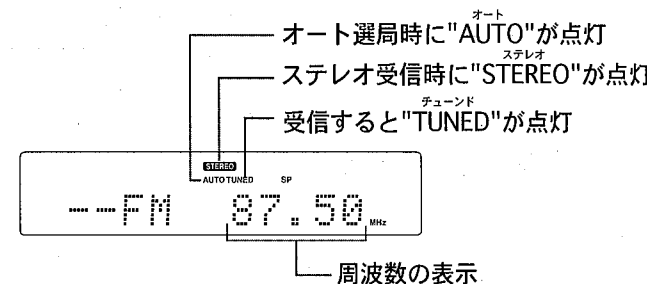
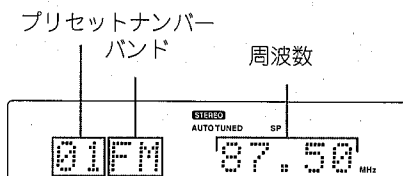
- スタンバイ状態(71ページ)では、MDを出し入れすることはできません。無理にMDを入れると、故障の原因となります。
- あらかじめMDを入れておくと、スタンバイ状態中にMD ▶/❚❚キーを押すだけで電源が入り、再生が始まります。(ワンタッチオペレーション)
- MDにタイトルが記録されているときは、そのディスクのタイトルまたは曲のタイトルが表示されます。

ラジオを聴く

あらかじめ記憶(プリセット)させた放送局をワンタッチで選んで聴くことができます。
プリセットのしかたについては「放送局を記憶させる」(14〜15ページ)をご覧ください。

1 **ON/STANDBY I/⏻キー(リモコンはI/⏻ POWERキー)を押して、電源を入れる**

2 **TUNER FM/AMキー(リモコンはFM/AMキー)を押す**

3 **I◀◀/TUNING▽キーまたは△TUNING/▶▶Iキー(リモコンはI◀◀P.CALLキーまたは▶▶IP.CALLキー)を押して、放送局を選ぶ**

押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

4 **VOLUME/MULTI CONTROLを押して、音量を調整する**
または、リモコンのVOL.△/▽キーを押し調整する

記憶させていない放送局を選ぶ

受信状態によって、オート選局とマニュアル選局に切り換えることができます。

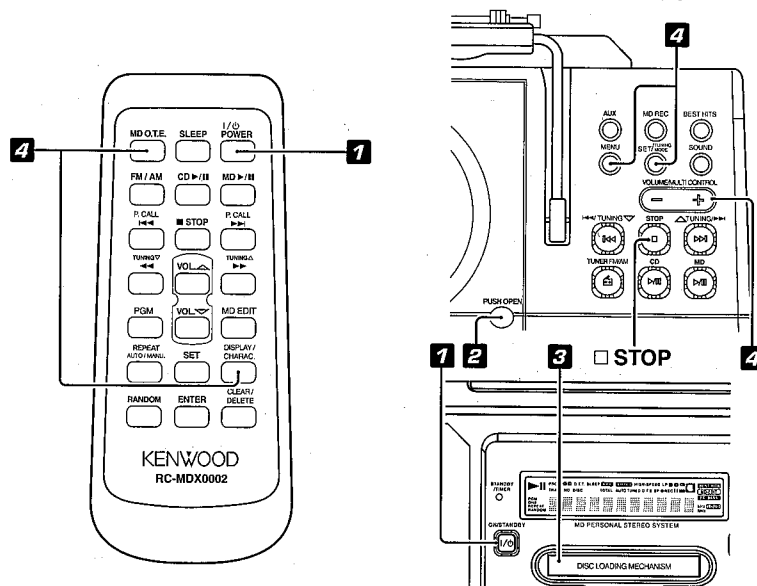
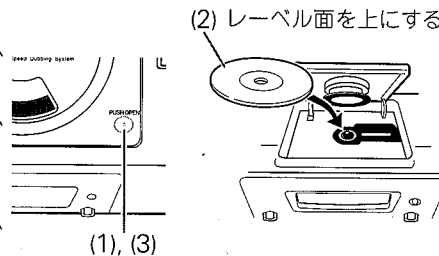
(1) 本体のSET/TUNING MODEキー(リモコンはREPEAT/AUTO/MANU.キー)を押して、オート選局またはマニュアル選局モードを選ぶ。
"AUTO"点灯:受信の状態が良いときはオート選局モード(ステレオ受信)を選びます。
"AUTO"消灯:雑音が入るときはマニュアル選局モード(モノラル受信)を選びます。
- 通常は、"AUTO"(オート選局、ステレオ受信)にしておきます。

(2) "AUTO"または"MANUAL"が表示している間に本体のI◀◀/TUNING▽キーまたは△TUNING/▶▶Iキーを押して選局する。
リモコンの◀◀TUNING ▽キーまたは▶▶TUNING △キーを押しても選局できます。
オート選局　　:押すたびに次の放送局を自動的に受信します。
マニュアル選局:希望する放送局を受信するまで押し続けます。

POINT

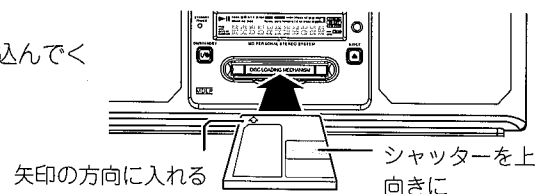
- スタンバイ状態中(71ページ)にTUNER FM/AMキー(リモコンはFM/AMキー)を押すだけで電源が入り、受信状態になります。(ワンタッチオペレーション)
- 選局時にI◀◀/TUNING▽キーまたは△TUNING/▶▶Iキー(リモコンは◀◀TUNING ▽キーまたは▶▶TUNING △キー)を押したままにすると放送局をスキップします。

CDをMDに録音する(MD O.T.E.)

CDの全曲をワンタッチでMDに録音(全曲録音)できます。
今聴いている曲をワンタッチで曲の始めから録音(1曲録音)することもできます。

1 ON/STANDBY I/⏻ キー(リモコンは I/⏻ POWERキー)を押して、電源を入れる

2 CDを入れる

CDは水平に置いてください。斜めに置くと、故障の原因となります。

(1) CDドアのPUSH OPEN部分を押して、CDドアを開ける。

(2) CDを入れる。

(3) CDドアのPUSH OPEN部分を押して、CDドアを閉める。

CDが再生中のときは、■STOPキーを押して、停止させてください。

(2) レーベル面を上にする

(1), (3)

3 録音可能なMDを入れる

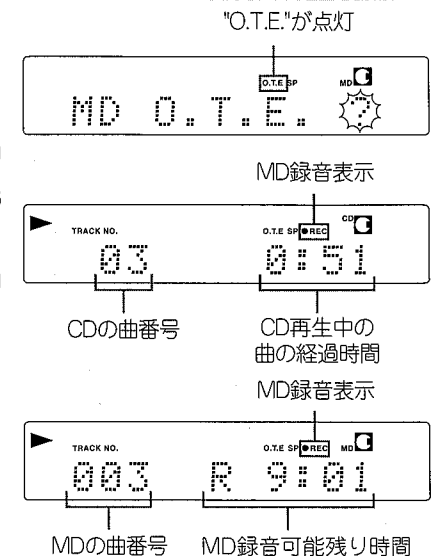
MDを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

4 リモコンのMD O.T.E.キーを押す

本体で操作するときは:

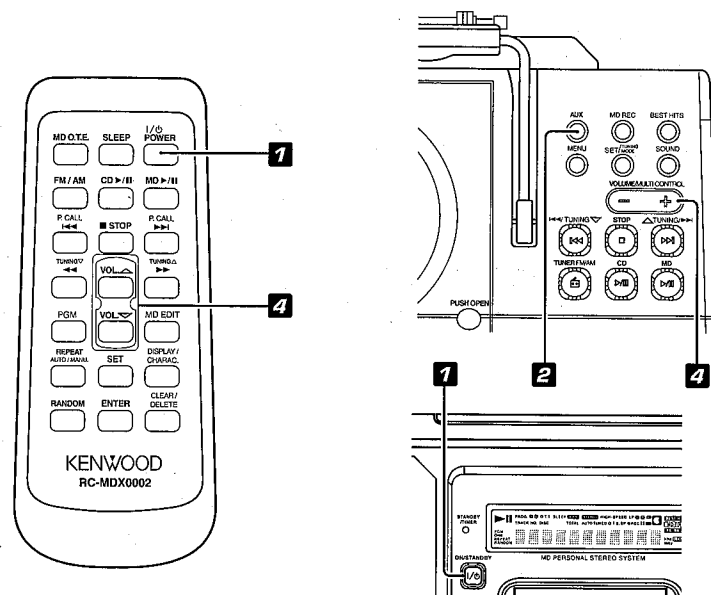
(1) MENUキーを押す。

(2) VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して"MD O.T.E."を選び、SET/TUNING MODEキーを押す。

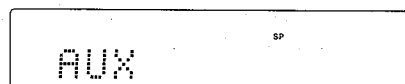
(3) リモコンのDISPLAY/CHARAC.キーを押すと、ディスプレイの表示が切り換わります。

今聴いているCDの曲を録音する(1曲録音)

(1) 録音したいCDの曲を再生する。

(2) リモコンのMD O.T.E.キーを押す。
本体で操作するときは手順4をご覧ください。
再生中の曲の最初に戻ってから、録音が始まります。

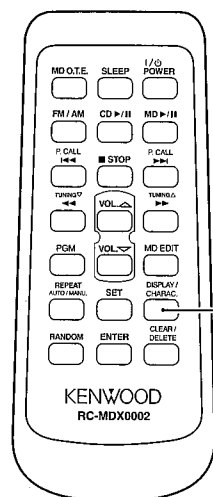
録音を途中でやめるには

■STOPキーを押します。

POINT

- "MD WRITING"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- 録音可能なMDについては、「MDの取り扱いかた」(61ページ)をご覧ください。
- CDをMDに倍速で録音することもできます。(35~36ページ)
- MD REC MODEで設定した内容で録音されます。(34ページ)
- ランダムモードのときは、MD O.T.E.録音ができません。ランダムモードを解除してから操作してください。(32ページ)
- 大音量で録音を行なうとMD再生時、音飛びが発生することがあります。
録音時は音量を少し下げてください。

外部入力機器からの音を聴く

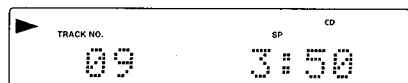
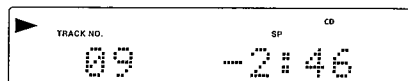
外部入力機器からの音を聴いてみましょう。

1 ON/STANDBY（オン/スタンバイ） I/⏻ キー（リモコンは I/⏻ POWER（パワー）キー）を押して、電源を入れる

2 AUXキーを押す

AUX　SP

3 接続した機器を再生する

4 VOLUME/MULTI CONTROL（ボリューム/マルチ コントロール）を押して、音量を調整する
または、リモコンのVOL. △/▽キーを押し調整する

表示について

CDの表示を見る

DISPLAY / CHARAC.

リモコンのDISPLAY/CHARAC.キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

1. 再生中の曲の経過時間

TRACK NO. SP CD
09 3:50

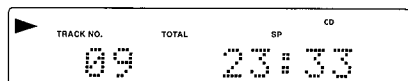
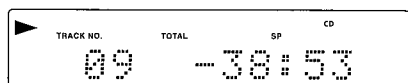
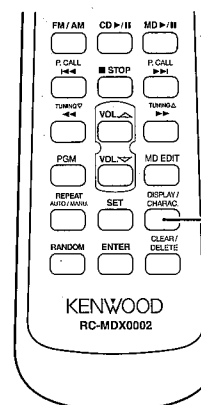
2. 再生中の曲の残り時間

TRACK NO. SP CD
09 -2:46

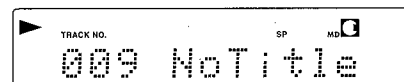
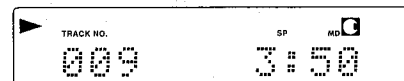
3. ディスク全体の経過時間

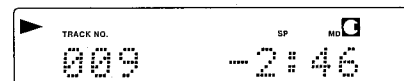
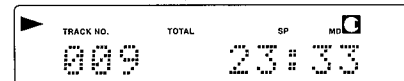
TRACK NO. TOTAL SP CD
09 23:33

4. ディスク全体の残り時間

TRACK NO. TOTAL SP CD
09 -38:53

POINT

- 1曲リピート再生やランダム再生のときは、1と2のみ表示します。
- 表示時間の合計が100分以上になると、"- - : - -"と表示されます。

MDの表示を見る

再生時

リモコンのDISPLAY/CHARAC.キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

1. 再生中の曲（タイトル）

2. 再生中の曲の経過時間

TRACK NO. SP MD
009 3:50

3. 再生中の曲の残り時間

TRACK NO. SP MD
009 -2:46

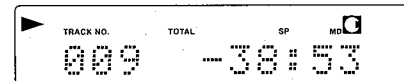
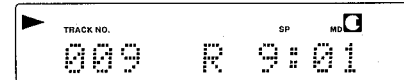
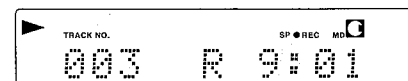
4. ディスク全体の経過時間

TRACK NO. TOTAL SP MD
009 23:33

5. ディスク全体の残り時間

TRACK NO. TOTAL SP MD
009 -38:53

6. ディスク録音可能時間

TRACK NO. SP MD
009 R 9:01

POINT

- 1曲リピート再生やランダム再生のときは、1〜3のみ表示します。
- 表示時間の合計が1000分以上になると、"- - : - -"と表示されます。

録音時

リモコンのDISPLAY/CHARAC.キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

1. ディスク録音可能時間

TRACK NO. SP ●REC MD
003 R 9:01

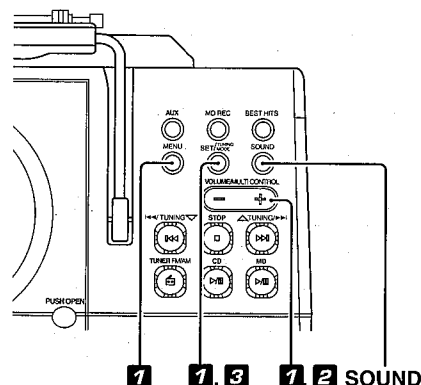
2. 録音している音楽ソース

TRACK NO. SP ●REC CD
03 9:01

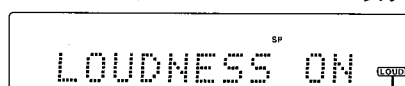
POINT

- タイトルがディスクに登録されていないときは、"NoTitle"が表示されます。
- 1曲も録音されていないときは、"BLANK DISC"が表示されます。

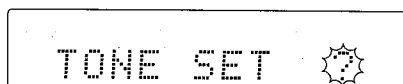
音質を調整する

低音と高音を強調する（EX.BASS / LOUDNESS）

本体のみ

SOUNDキーを繰り返し押して、好みの音質を選ぶ

"EX. BASS"が点灯：音量にかかわらず低音域を強調します。
"LOUD"(LOUDNESS)が点灯：音量に合わせて低高音域を強調します。（小音量時に有効です）
"EX. BASS""LOUD"が消灯(SOUND MODE OFF)：サウンドモードを解除したとき。

EX.BASSを選んだときのスクロール表示

EX. BASS ON

"EX. BASS"が点灯

LOUDNESSを選んだときのスクロール表示

LOUDNESS ON

"LOUD"が点灯

低音と高音を細かく調整する（TONE）

1 MENUキーを押してから VOLUME/MULTI CONTROL キーを繰り返し押して、"TONE SET?" を選ぶ

TONE SET ?

SET/TUNING MODEキーを押して、"BASS"または"TREBLE"を選ぶ

BASSを選んだとき

BASS -2

"BASS"　：低音域を調整します。
"TREBLE"：高音域を調整します。

2 VOLUME/MULTI CONTROL キーを押して、好みの音質に調整する

－8から+8の範囲で調整できます。

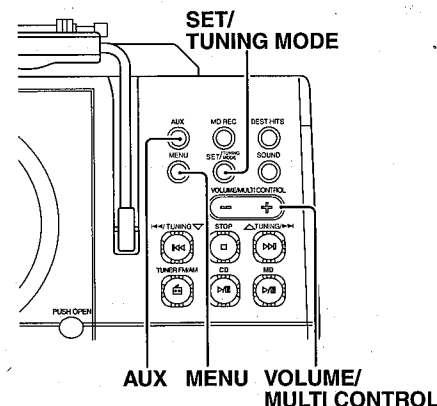
3 SET/TUNING MODEキーを押す

調整後、SET/TUNING MODEキーを押さずに約20秒間そのままにしておくと、元の表示に戻ります。

POINT

- "EX. BASS"または"LOUD"が点灯中に音質を調整すると、EX.BASSまたはLOUDNESSは解除されます。
- EX.BASSまたはLOUDNESS効果の音は、録音には反映されません。

外部入力レベルを調整する

AUX IN端子に接続された外部機器（MDプレーヤー、レコードプレーヤー、ビデオデッキなど）からの入力レベルを調整します。CD, MDなどと同じくらいの大きさで聞こえるように調整してください。

本体のみ

1 AUXキーを押して、外部入力を選ぶ

2 接続した機器を再生して、音量を確認する

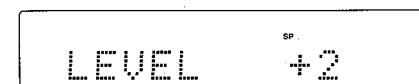
3 MENUキーを押す

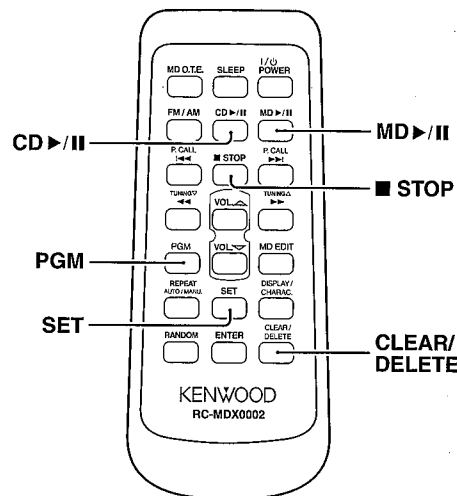
4 VOLUME/MULTI CONTROL キーを押して、"AUX INPUT?"を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

AUX INPUT ?

5 VOLUME/MULTI CONTROL キーを押して入力レベルを微調整し、SET/TUNING MODEキーを押す

-5から+2の範囲で調整することができます。

LEVEL +2

CDやMDの曲順を並べ替えて聴く(PGM)

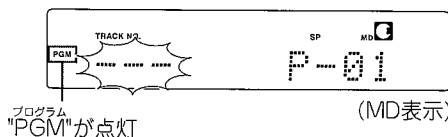
好きな曲を好きな順番に、最大32曲までプログラムして聴くことができます。

リモコンのみ

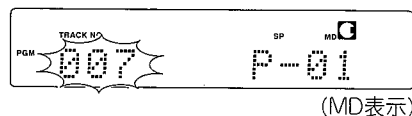
1 CDのとき:CD ▶/II キーを押す MDのとき:MD ▶/II キーを押す

2 ■STOPキーを押す

3 PGMキーを押す

"PGM"が点灯

(MD表示)

4 P.CALL |◀◀/▶▶| キーを押して、聴きたい曲を選ぶ

(MD表示)

5 SETキーを押す

2曲以上選ぶときは、手順4, 5を繰り返します。
間違えたときは、CLEAR/DELETEキーを押して、曲番号を消し、選び直します。

6 CDのとき:CD ▶/II キーを押す MDのとき:MD ▶/II キーを押す

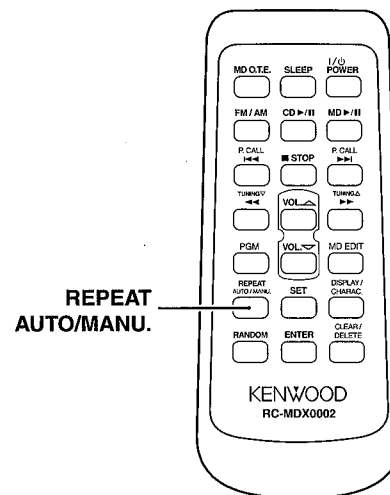
プログラム再生をやめるには

再生中に■STOPキーを押します。

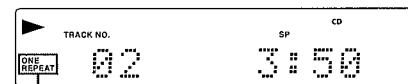
プログラムした曲を取り消すには

停止中にCLEAR/DELETEキーを押します。押すたびに最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
一度に全部消すときは、PGMキーを押します。

プログラム再生を解除するには

ストップ状態でPGMキーを押して、"PGM"を消灯させます。

POINT

- "FULL P-32"と表示されると、それ以上曲を選ぶことはできません。
- 停止中にのみ、PGMモードにすることができます。
- PGMキーを押してから20秒経ってもプログラムしない場合は"NO PGM"が表示されます。

CDやMDを繰り返し聴く(REPEAT)

お気に入りの曲を繰り返し聴くことができます。プログラム再生やランダム再生のときでも繰り返し聴くことができます。

リモコンのみ

REPEAT/AUTO/MANU. キーを繰り返し押して、"ONE"と"REPEAT"または"REPEAT"のみを点灯させる

"ONE"と"REPEAT"が点灯:1曲だけを繰り返します。
"REPEAT"のみ点灯:ディスクの全曲を繰り返します。

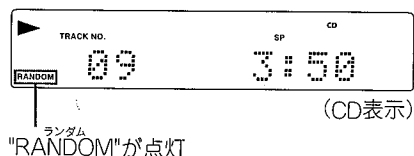
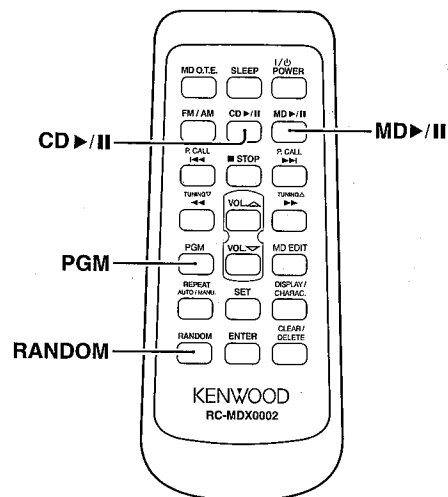
"ONE"と"REPEAT"を点灯させたとき

リピート再生を解除するには

REPEAT/AUTO/MANU.キーを繰り返し押して、"ONE"および"REPEAT"を消灯させます。

POINT

- プログラム再生時は"PGM"と"REPEAT"、ランダム再生時は"RANDOM"と"REPEAT"が点灯し、全曲を繰り返します。
- 再生または停止中もリピートモードを切り換えることができます。

CDやMDを順不同で聴く（RANDOM）

曲が順不同に再生されるので、飽きることなく楽しめます。

リモコンのみ

1 **CDのとき：CD ▶/II キーを押す**
MDのとき：MD ▶/II キーを押す
"PGM"が点灯しているときは、■ STOPキーを押して、再生を停止させてから、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

2 **■STOPキーを押してから、RANDOMキーを押して"RANDOM"を点灯させる**

（CD表示）

"RANDOM"が点灯

ランダム再生を解除するには

RANDOMキーを押して、"RANDOM"を消灯させます。

POINT

- 全曲の再生が1回終わると停止します。

ステレオ長時間録音について

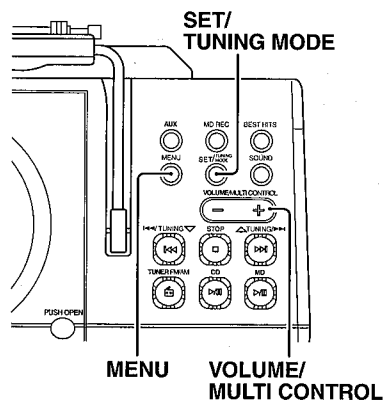
本機は、MDのステレオ長時間録音に対応しています。（MDLP対応機器です）
録音モードにはステレオ録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音があり、本機のMDで録音できる全ての音楽ソースに使用できます。
また、同じMDに異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。
録音をする前に録音モードの設定を行ってから、それぞれの録音操作をしてください。

録音モードの種類

ステレオ録音（SP）：
録音可能時間はMDカートリッジに表示されている時間になります。

ステレオ2倍長時間録音（LP2）：
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている2倍の時間になります。

ステレオ4倍長時間録音（LP4）：
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている4倍の時間になります。

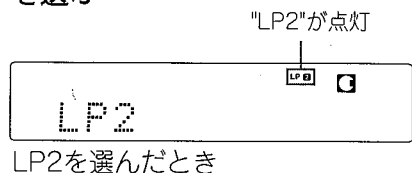
スタンプ（STAMP）機能

本機ではステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音されたことがわかるように曲のタイトルの始めの部分に「LP：」を自動的につける機能があります。
「LP：」は、MDLPに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。

POINT

- 本機のMDでステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音された曲は、MDLPに対応した機器で再生することができます。MDLPに対応していない機器で再生すると、無音状態で再生されます。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に「LP：」が表示されます。
- MDにステレオ音声で録音する場合、長時間録音になるにしたがって録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音（SP）で録音してください。

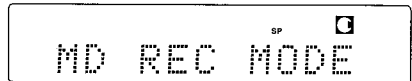
録音モードの設定

録音モードは停止中のみ設定することができます。

本体のみ

1 MENUキーを押す

2 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"MD REC MODE"を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

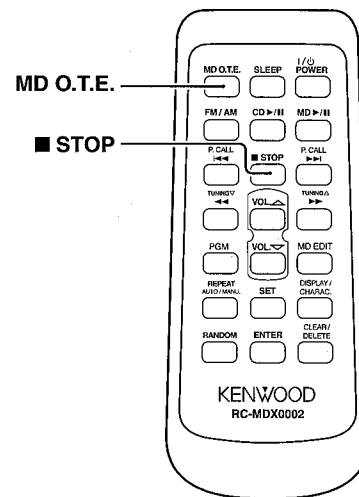
現在設定されている録音モードが表示されます。

SP
MD REC MODE

3 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、録音したいモードを選ぶ

LP2を選んだとき

"SP" ：ステレオ録音("SP"が点灯)
"LP2" ：ステレオ2倍長時間録音("LP2"が点灯)
"LP4" ：ステレオ4倍長時間録音("LP4"が点灯)

4 SET/TUNING MODEキーを押す

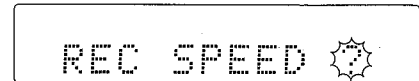
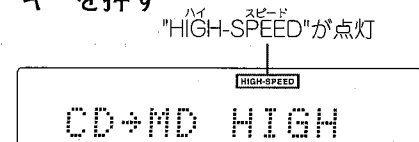
"SP"を選んだときは、設定終了です。
"LP2"または"LP4"を選んだときは、STAMP機能の設定が表示されます。
手順5へ進みます。

5 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"LP:STAMP on"または"LP:STAMP off"を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

曲タイトルの頭の部分に「LP:」を自動で入れるときは、"on"を選びます。
曲タイトルの頭の部分に「LP:」を入れないときは、"off"を選びます。

LP2
LP:STAMP on

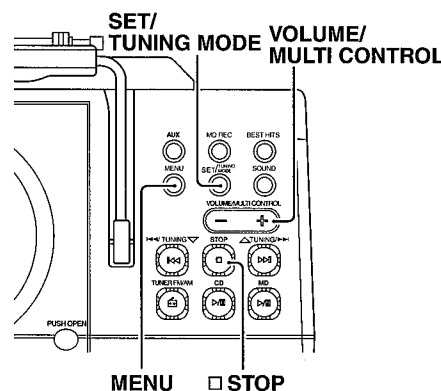
"LP:STAMP on"を選んだとき

CDの全曲をMDに倍速で録音する

CDの全曲を通常の半分の時間で録音することができます。プログラムまたはランダムモードを設定している場合は解除してから操作してください。

1 録音の準備をする

「CDをMDに録音する」の手順1～3(22ページ)をご覧ください。

2 MENUキーを押す

3 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"REC SPEED?"を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

REC SPEED ?

4 VOLUME/MULTI CONTROLを押して、"CD→MD HIGH"を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

"HIGH-SPEED"が点灯

HIGH-SPEED
CD→MD HIGH

通常の速度で録音するときは"CD→MD NORM"を選んでください。

5 リモコンのMD O.T.E.キーを押す

本体で操作するときは「CDをMDに録音する」の手順4(23ページ)をご覧ください。
全ての曲を録音し終わると、CDとMDは自動的に停止します。

次ページに続く→

今聴いているCDの曲を倍速で録音する（1曲倍速録音）

（1）手順1～4の操作をする。（35ページ）
（2）録音したいCDの曲を再生する。
（3）リモコンのMD O.T.E.キーを押す。
本体で操作するときは「CDをMDに録音する」の手順4（23ページ）をご覧ください。
再生中の曲の最初に戻ってから、録音が始まります。

録音を途中でやめるには

■STOPキーを押します。

POINT

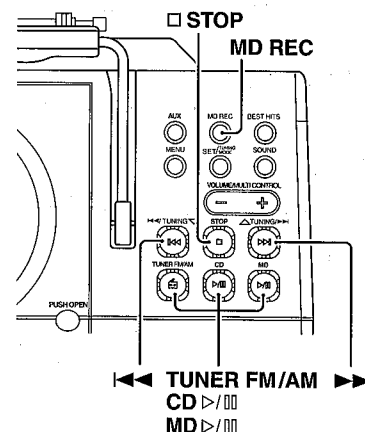
- "MD WRITING"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- いったん倍速録音を始めてしまうと、録音を始めてから74分以内に同じCDを倍速録音することはできません。このようなディスクの場合、再録音できるまでの時間が表示されます。

HIGH-SPEED SP
WAIT 74min.

再録音できるまでの時間

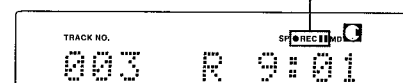
また74分以内に81曲以上を続けて倍速録音することもできません。
- 続けて同じCDを録音したいときは、"REC SPEED"を"CD→MD NORM"にしてからMD O.T.E.録音をしてください。（22～23ページ）

MDに録音する

好みの音楽ソースをMDに録音することができます。

本体のみ

1 録音可能なMDを入れる

2 録音する音楽ソースを選ぶ

CD　　：CD ▷/Ⅱキーを押す。
ラジオ　：TUNER FM/AMキーを押す。
外部入力：AUXキーを押す。
すでにCDが入っているときは、再生が始まりますので、□STOPキーを押して停止させます。

3 MD RECキーを押す

録音一時停止状態になります。

MD録音一時停止表示

TRACK NO. SP ●REC Ⅱ MD
003 R 9:01

4 録音する音楽ソースの準備ができたら、もう一度MD RECキーを押す

5 録音する音楽ソースを再生する

録音をやめるには

□STOPキーを押します。

録音を一時停止するには

録音中にMD ▷/Ⅱキーを押します。
この状態から再び録音を始めるときは、MD ▷/ⅡキーまたはMD RECキーを押します。

メッセージが表示されて録音できないときは

「メッセージ表示の一覧」（66ページ）をご覧ください。

CDを録音するときのポイント

CDを録音するときは、MDを録音一時停止状態にしておくと、CDの再生とMDの録音を同時に始めることができます。（シンクロ録音機能）

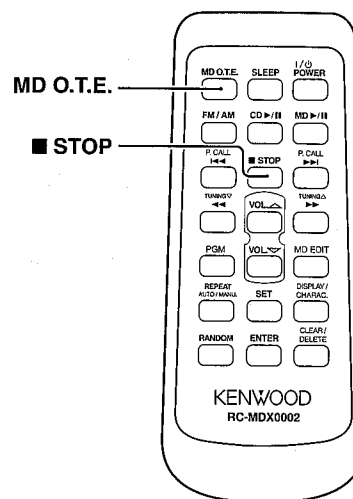
（1）CDを再生一時停止状態にする。
（2）⏮キーまたは⏭キーを押して録音したい曲を選ぶ。
（3）MD RECキーを押して、録音一時停止状態にする。
（4）CD ▷/Ⅱキーを押して、CDの再生を始める。

次ページに続く→

POINT

- "MD WRITING(ライティング)"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- スタンバイ状態(71ページ)では、MDを出し入れすることはできません。無理にMDを入れると、故障の原因となります。
- CDをMDに録音するときは、自動的にデジタル録音になります。

  ラジオやAUX(外部機器)からMDに録音するときは、アナログ録音になります。
- 大音量で録音を行なうとMD再生時、音飛びが発生することがあります。

  録音時は音量を少し下げてください。

録音時の曲番号について

曲番号は再生中に曲の頭出しをするときや、プログラムをするときに使用します。

- ラジオ、AUX、CDからの音を録音するときは、下記のような場合に、曲番号が自動的につきます。
  - 録音が一時停止中にもう一度MD ►/❚❚キーまたはMD REC(レック)キーを押して録音を始めるとき
  - 録音中にリモコンのMD EDIT(エディット)キーを押したとき

CDの曲順を並べ替えてMDに録音する

通常速度"CD→MD NORM(ノーマル)"のときに、CDの曲順を並べ替えて録音できます。倍速録音"CD→MD HIGH(ハイ)"のときはできません。

MD O.T.E.

■ STOP

リモコンのみ

1 録音の準備をする

MD:「CDをMDに録音する」の手順1～3(22～23ページ)をご覧ください。

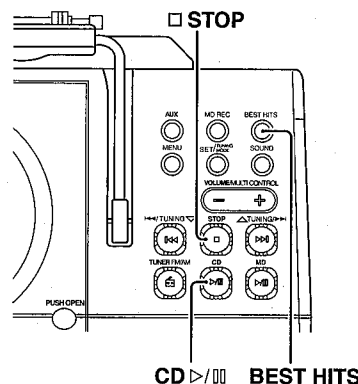
2 CDの曲順をプログラムする

「CDやMDの曲順を並べ替えて聴く」の手順1～5(30ページ)をご覧ください。

3 録音を開始する

MDに録音するとき:MD O.T.E.(ワンタッチエディット)キーを押す。

録音を途中でやめるには

■STOP(ストップ)キーを押します。

POINT

- "MD WRITING(ライティング)"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- 大音量で録音を行なうとMD再生時、音飛びが発生することがあります。

  録音時は音量を少し下げてください。

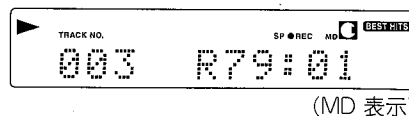
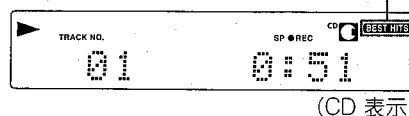
CDの1曲目をMDに録音する(BEST HITS)

CDの1曲目を簡単に録音できます。シングルCDなどの1曲目をまとめてMDに録音するときに便利です。

本体のみ

1 録音の準備をする

「CDをMDに録音する」の手順1～3(22～23ページ)をご覧ください。

2 CD ▷/IIキーを押す

3 □STOPキーを押す

"PGM"が点灯しているときは、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

4 BEST HITSキーを押す

"BEST HITS"が点灯

(CD 表示)

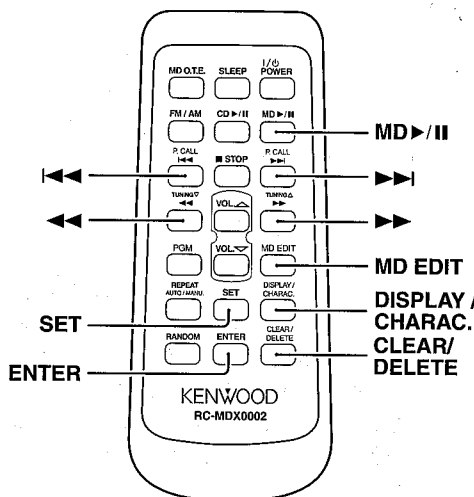
(MD 表示)

CDの1曲目の録音が終わると、CDとMDは自動的に停止します。

5 CDを交換して、BEST HITSキーを押す

この手順を繰り返して、次々にCDの1曲目を録音していきます。

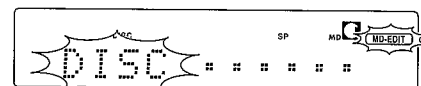
録音を途中でやめるには

□STOPキーを押します。

POINT

- "MD WRITING"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- BEST HITS 録音でも倍速で録音することができます。(35～36ページ)
- 大音量で録音を行なうとMD再生時、音飛びが発生することがあります。
録音時は音量を少し下げてください。

MDのタイトルを編集する

ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける

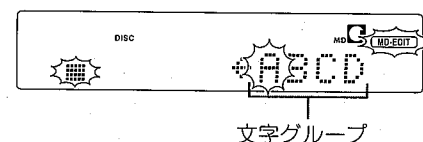
ディスクのタイトルや曲のタイトルをつけておくと、再生のときに表示されます。プログラムモードを設定している場合は解除してから操作してください。

リモコンのみ

1 MD ▶/II キーを押して、MD入力を選び録音済みのMDを入れる

2 MD EDIT キーを押してから、⏮または⏭キーを押して"TITLE INPUT"キーを選び SETキーを押す

3 ⏮キーまたは⏭キーを繰り返し押して、"DISC"またはタイトルをつけたい曲番号("001"…)を選ぶ

4 SETキーを押す

5 DISPLAY/CHARAC.キーを繰り返し押して、目的の文字グループを選ぶ

英字の大文字グループ：ABCD…
英字の小文字グループ：abcd…
数字・記号グループ：0123…
カタカナの大文字グループ：-アイウエ
カタカナの小文字グループ：-ァィゥェ
入力できる文字については、「タイトル編集文字一覧表」(43ページ)をご覧ください。

文字グループ

6 ⏮キーまたは⏭キーを繰り返し押して、目的の文字を選ぶ

7 SETキーを押して、選んだ文字を確定する

手順5～7を繰り返して、好みのタイトルを入力します。
CLEAR/DELETEキーを押すと、カーソルの前の文字を消去することができます。

次ページに続く→

8 タイトルを入力し終わったら、ENTERキーを押す

入力したタイトルがスクロールして表示されます。
つづけて曲のタイトルをつけるときは、手順3～8を繰り返します。

9 MD EDITキーを押す

10 本体の≙EJECTキーを押して、MDを取り出す

"MD WRITING"表示します。

途中でやめるには

手順8までにMD EDIT キーを押します。
また、"MD WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。
操作については、「編集を取り消す」(51ページ)をご覧ください。

タイトルを変更する

(1) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順1～4 (41ページ)を行う。
(2) ◀◀キーまたは▶▶キーを繰り返し押して、変更したい文字を選ぶ。
(3) CLEAR/DELETEキーを押して変更したい文字を消す。
(4) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順5～10 (41ページ)を行う。

タイトルを消去する

(1) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順1～4 (41ページ)を行う。
(2) CLEAR/DELETEキーを押して、文字を消す。

「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順3 (41ページ)で"ALL ERASE"を選ぶと、すべてのタイトルを一度に消すことができます。

POINT

- "MD WRITING"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- 変更したい文字が表示されないときは、◀◀キーまたは▶▶キーを押すと、カーソルが動き、隠れていた文字が表示されます。
- 曲を聴きながらタイトルを入力したいときは、「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順2 (41ページ)の前にタイトルをつけたい曲を再生してください。
- 入力できる文字数は、全体で1792文字、1曲につき80文字("LP:"も含む)まで入力することができます。

タイトル編集文字一覧表

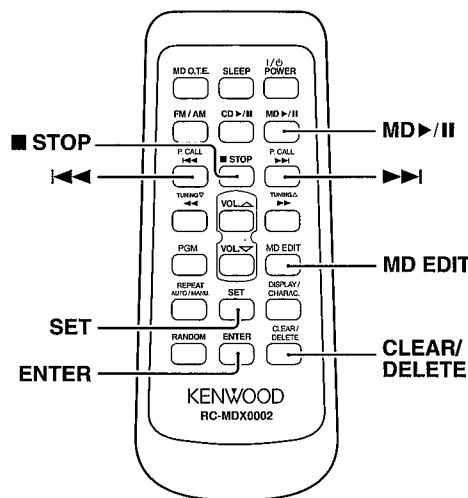
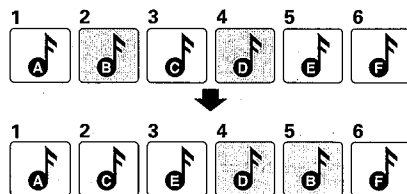
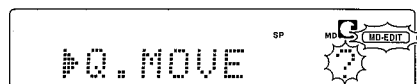
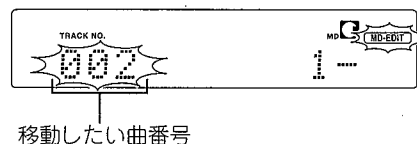
次のようなカタカナ文字やアルファベット小文字、並びに各種記号などを選ぶことができます。

リモコンの|◀◀キーまたは▶▶|キーで文字を選ぶとき

英字の大文字グループ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZスペース
英字の小文字グループ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyzスペース
数字・記号グループ	0123456789スペース!"#$%&'()*+,－./:;〈=〉`?@スペース_
カタカナグループ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン　ーァィゥェォッャュョヴガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポ　ー

曲をまとめて移動する

並べたい順に曲を選んで、一度に曲を最大32曲までまとめて移動することができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲をまとめて移動するイメージ

リモコンのみ

1 MD ▶/II キーを押して、MD入力を選び録音済みのMDを入れる

MDが再生中のときは、■STOPキーを押して再生を停止させます。

2 MD EDITキーを押してから、I◀◀キーまたは▶▶I キーを押して、"TRACK EDIT"を選びSETキーを押す。

I◀◀キーまたは▶▶Iキーを繰り返し押して"▶Q. MOVE?"を選び、SETキーを押す

3 I◀◀キーまたは▶▶Iキーを繰り返し押して、移動したい曲番号を選び、SETキーを押す

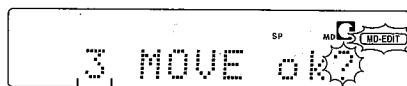
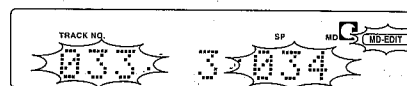
この手順を繰り返して、希望の曲順に並べ替えます。

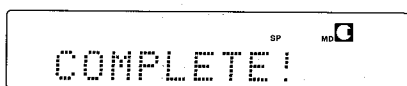
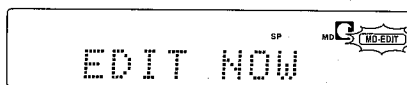
移動したい曲番号

間違えたときは、CLEAR/DELETEキーを押して曲番号を消し、上記の手順を繰り返して選び直します。

4 曲順を並べ替えたら、ENTERキーを押す

5 I◀◀キーまたは▶▶Iキーを繰り返し押して、移動先を選び、SETキーを押す

33曲目と34曲目の間に3曲移動するとき

選んだ移動したい曲の数

6 ENTERキーを押す

7 本体の≙EJECTキーを押して、MDを取り出す

"MD WRITING"表示します。

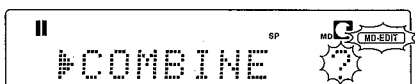
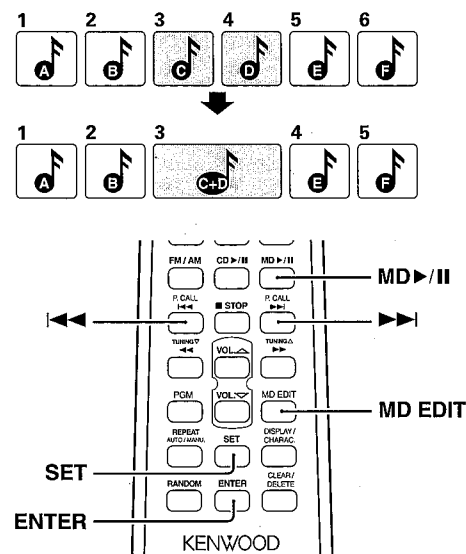
途中でやめるには

手順5までにMD EDITキーを押します。
また、"MD WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。
操作については、「編集を取り消す」(51ページ)をご覧ください。

POINT

- "MD WRITING"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

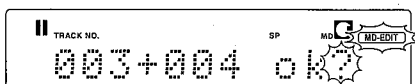
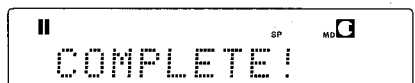
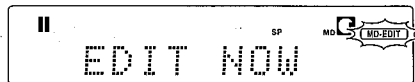
曲をつなぐ

曲と曲をつなぐことができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲をつなぐイメージ

リモコンのみ

1 **MD ▶/II キーを押して、MD入力を選び録音済みのMDを入れる**

2 **|◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、つないだときに前になる曲を選ぶ**

曲が再生されます。

3 **MD EDIT(エディット)キーを押してから|◀◀キーまたは▶▶|キーを押して、"TRACK EDIT(トラック エディット)"を選び、SET(セット)キーを押す**

|◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して"▶COMBINE(コンバイン)?"を選び、SET(セット)キーを押す

4 **|◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、つなぎたい曲を選び、SET(セット)キーを押す**

手順2で選んだ曲番号

5 **ENTER(エンター)キーを押す**

6 **本体の⏏EJECT(イジェクト)キーを押して、MDを取り出す**

"MD WRITING(ライティング)"表示します。

途中でやめるには

手順4までにMD EDIT(エディット)キーを押します。
また、"MD WRITING(ライティング)"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。
操作については、「編集を取り消す」(51ページ)をご覧ください。

POINT

- "MD WRITING(ライティング)"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- 録音モード(33ページ)が異なる曲をつなぐことはできません。また、MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。
- 結合して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。

曲を分ける

曲を分割することができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲を分けるイメージ

リモコンのみ

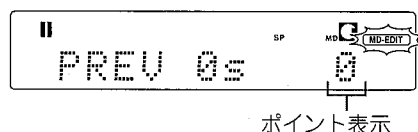
1 MD ▶/II キーを押して、MD入力を選び録音済みのMDを入れる

2 I◀◀キーまたは▶▶Iキーを繰り返し押して、分割したい曲番号を選ぶ

曲が再生されます。

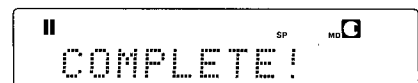
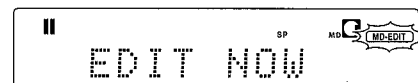
3 分割したいポイントでMD EDIT（エディット）キーを押してからI◀◀キーまたは▶▶I キーを押して"TRACK（トラック） EDIT（エディット）"を選び、SET（セット）キーを押す

I◀◀キーまたは▶▶Iキーを繰り返し押して、"▶DIVIDE（ディバイド）?"を選ぶ

4 もう一度SET（セット）キーを押す

5 I◀◀キーまたは▶▶Iキーを繰り返し押して、分けるポイントを調整し、SET（セット）キーを押す

約2秒間音が繰り返し再生されます。繰り返される音を聴きながら調整します。

ポイントは−31〜+31まで調整することができます。

曲を分けるポイント

分けるポイントを変えるときはMD EDIT（エディット）キーを押して、手順2からやり直します。

6 ENTER（エンター）キーを押す

7 本体の≜EJECT（イジェクト）キーを押して、MDを取り出す

"MD WRITING（ライティング）"表示します。

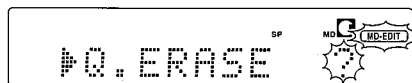
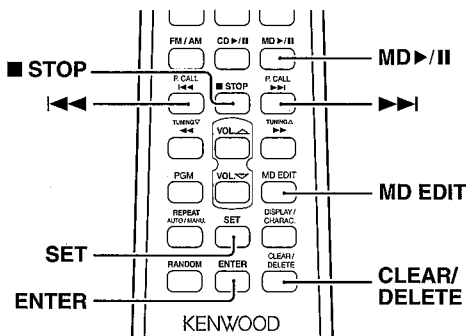
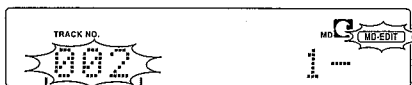
途中でやめるには

手順5までにMD EDIT（エディット）キーを押します。
また、"MD WRITING（ライティング）"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。
操作については、「編集を取り消す」(51ページ)をご覧ください。

POINT

- "MD WRITING（ライティング）"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- 分割によってできた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 分割して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。

曲をまとめて消す

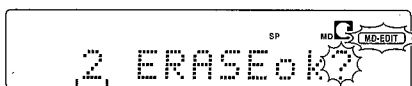
いくつかの曲を一度に最大32曲まで消すことができます。また、全曲を一度に消すこともできます。曲番号は自動的に調節されます。

曲をまとめて消すイメージ

リモコンのみ

1 MD ▶/II キーを押して、MD入力を選び録音済みのMDを入れる

MDが再生中のときは、■STOPキーを押して再生を停止させます。

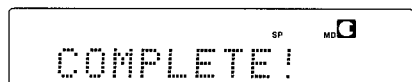
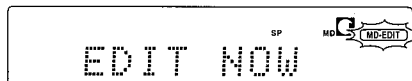
2 MD EDITキーを押してから|◀◀キーまたは▶▶| キーを押して"TRACK EDIT" を選び、SETキーを押す

|◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、"▶Q. ERASE?"を 選び、SETキーを押す

▶Q. ERASE

3 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、消したい曲番号を選び、SETキーを押す

この手順を繰り返して消したい曲を選びます。

全曲を消したいときは"ALL ERASE"を選びます。

消したい曲番号

間違えたときは、CLEAR/DELETEキーを押して、曲番号を消し、選び直します。

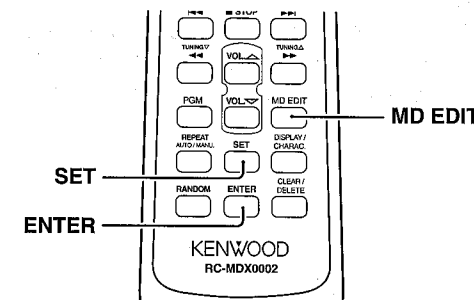
4 消したい曲番号を選び終えたら、ENTERキーを押す

消したい曲の数

5 もう一度ENTERキーを押す

6 本体の⏏EJECTキーを押して、MDを取り出す

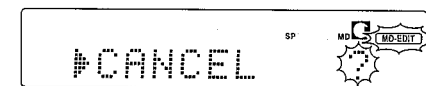
"MD WRITING"表示します。

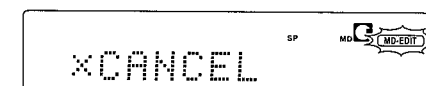
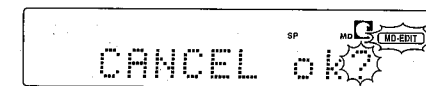
途中でやめるには

手順4までにMD EDITキーを押します。

また、"MD WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。

操作については、「編集を取り消す」をご覧ください。

POINT

- "MD WRITING"表示中は、電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

編集を取り消す

"MD WRITING"が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。

リモコンのみ

1 MDが停止中に、MD EDITキーを押してから|◀◀キーまたは▶▶|キーを押して"TRACK EDIT"を選び、SETキーを押す

|◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して "▶CANCEL?"を選び、SETキーを押す

編集取り消しができる場合の表示

編集取り消しができない場合の表示

編集取り消し確認の表示

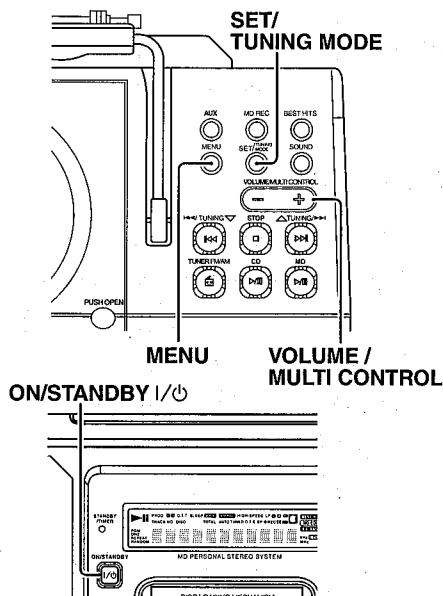
2 ENTERキーを押す

途中でやめるには

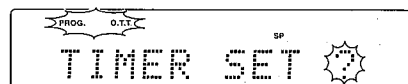
手順1までにMD EDITキーを押します。

目覚ましタイマーを使う

(O.T.T.)

開始時刻を合わせるだけの操作で、タイマー再生ができます。タイマー再生、受信開始から1時間たつと、電源は自動的に切れます。目覚ましタイマーは設定したあとの1回だけ働きます。

■ 設定する

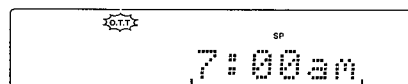
1 MENUキーを押す

2 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"TIMER SET?"を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

3 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"O.T.T. ON?"を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

"O.T.T."が点滅

O.T.T. SP O.T.T. ON ?

4 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、タイマーが入る時刻(オン時刻)を選ぶ

オン時刻は5分単位で設定することができます。

オン時刻の表示

5 SET/TUNING MODEキーを押す

■ 実行する

6 入力切り換えを聴きたい音楽ソースに合わせ、必要な準備をする

CD　：CDを入れる。
MD　：MDを入れる。
ラジオ　：聴きたい放送局を受信する。
外部入力　：外部入力機器を接続して、必要な準備をする。

7 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、音量を調節する

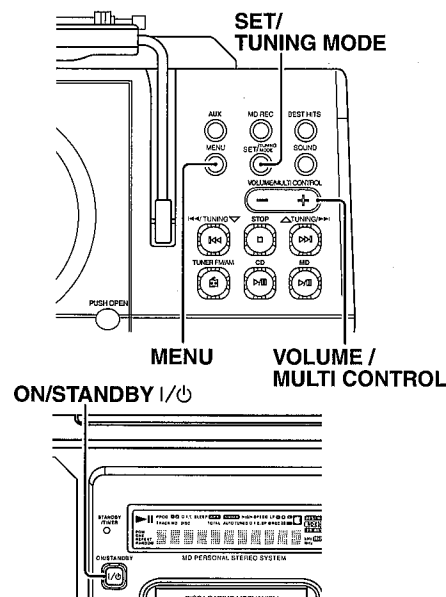
調節した音量で再生されます。

8 ON/STANDBY I/⏻キー(リモコンは I/⏻ POWERキー)を押して、電源を切り、スタンバイ状態にする

STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。
目覚ましタイマーが実行され、設定した時刻に再生を開始します。

目覚ましタイマーを解除するには

ステップ 1～3 の手順でTIMER OFFを選び、"O.T.T."を消灯させます。

設定内容を確認したり、変更するには

手順1からやり直します。

POINT

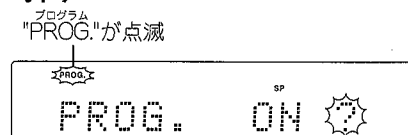
- タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください。(13ページ)
- STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅しているときは、タイマーの設定エラー、または時刻合わせがされていません。設定し直してください。(13、52～53 ページ)
- 目覚ましタイマーでは、CDやMDのプログラム再生をすることはできません。
- 目覚ましタイマーを解除しても、設定した内容は記憶しています。新しく設定しない限り、以前設定した目覚ましタイマーの内容はそのまま残っています。

プログラムタイマーを使う

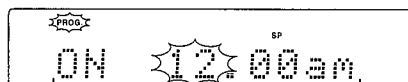
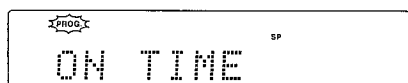
プログラムタイマーには、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じてオンまたはオフに切り換えることができます。プログラムタイマーは毎日働きます。

プログラムタイマーで再生する

設定した時刻に選んだ音楽ソースを聴くことができます。

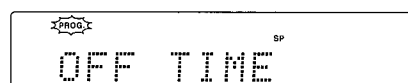
■ 設定する

1 聴きたい音楽ソースに合わせて、必要な準備をする

CD　：CDを入れる。
MD　：MDを入れる。
ラジオ　：オートプリセットしておく。(14～15 ページ)
外部入力：外部入力機器を接続して、必要な準備をする。
また、AUX端子に接続した外部入力機器のタイマーを設定してください。

2 MENUキーを押す

3 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"TIMER SET?"を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

4 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"PROG. ON"を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

"PROG."が点滅

PROG.　PROG.　ON

5 タイマーが入る時刻(オン時刻)を選ぶ

VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、「時」を選び、SET/TUNING MODEキーを押します。

PROG.　ON TIME

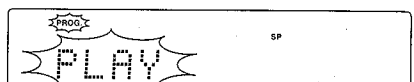
タイマーが入る時刻

同様の操作で「分」を選びます。

6 タイマーが切れる時刻(オフ時刻)を選ぶ

オン時刻と同様に設定します。

PROG.　OFF TIME

タイマーが切れる時刻

7 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"PLAY"または"AI PLAY"を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

"PLAY"：スタンバイ状態にする前に調整した音量で再生されます。
"AI PLAY"：タイマーの再生が始まると、除々に音量が大きくなり、一定の音量まで上がります。

"PLAY"を選んだとき

8 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、音楽ソースを選び、SET/TUNING MODEキーを押す

"CD"、"MD"、"TUNER"(ラジオ)、"AUX"(外部入力)の中から選ぶことができます。

9 ラジオを聴くときは、VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、聴きたいプリセットナンバーを選び、SET/TUNING MODEキーを押す

"TUNER"(ラジオ)以外を選んだときは、この操作は必要ありません。

10 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、音量を調節する

調節した音量で再生されます。
"AI PLAY"を選んだときは、この操作は必要ありません。

■ 実行する

11 ON/STANDBY I/⏻キー(リモコンは I/⏻ POWERキー)を押して、電源を切り、スタンバイ状態にする

STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。
設定した時刻にタイマープログラムが実行され、再生を開始します。

プログラムタイマーを解除するには

「プログラムタイマーを使う」(54ページ)のステップ2～4の手順で "TIMER OFF"を選び"PROG."を消灯させます。

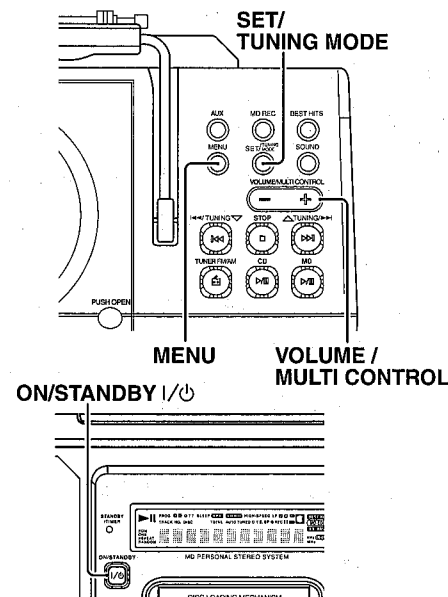
設定内容を確認したり変更するには

手順1からやり直します。

POINT

- タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください。(13ページ)
- タイマー再生では、CDやMDのプログラム再生をすることはできません。
- タイマーを解除しても、設定した内容は記憶しています。新しく設定しない限り、以前設定したプログラムタイマーの内容はそのまま残っています。
- STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅しているときは、タイマーの設定エラー、または時刻合わせがされていません。設定し直してください。(13、54～55ページ)

プログラムタイマーで録音する

設定した時刻にTUNER(ラジオ)またはAUX(外部入力)の音をMDに録音することができます。

■ 設定する

1 録音の準備をする

MD：「CDをMDに録音する」の手順1～3(22ページ)をご覧ください。

2 「プログラムタイマーで再生する」の手順2～6(54-55ページ)を行う

3 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"REC"を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

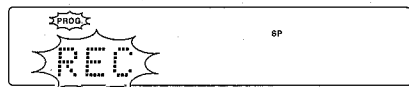
4 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"TUNER"または"AUX"を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

"TUNER"　：ラジオ
"AUX"　　：外部入力

5 ラジオを録音するときは、VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、録音したいプリセットナンバーを選び、SET/TUNING MODEキーを押す

■ 実行する

6 ON/STANDBY I/⏻キー(リモコンは I/⏻ POWERキー)を押して、電源を切り、スタンバイ状態にする

STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。
設定した時刻にタイマープログラムが実行され、再生を開始します。

プログラムタイマーを解除するには

「プログラムタイマーを使う」(54ページ)のステップ2～4の手順で"TIMER OFF"を選び"PROG."を消灯させます

設定内容を確認したり変更するには

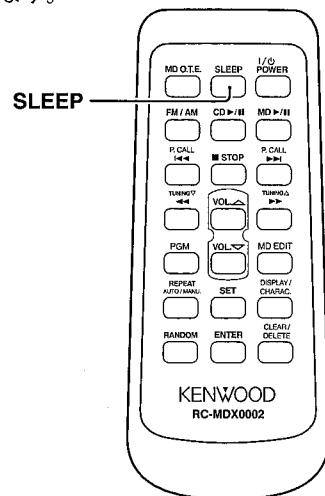
手順1からやり直します。

POINT

- タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください。(13ページ)
- タイマー録音のときは、スピーカーから音は小さくなります。
- タイマーを解除しても、設定した内容は記憶しています。新しく設定しない限り、以前設定したプログラムタイマーの内容はそのまま残っています。
- STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅しているときは、タイマーの設定エラー、または時刻合わせがされていません。設定し直してください。(13、54～55ページ)

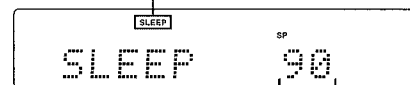
おやすみタイマーを使う

(SLEEP)

設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。10分単位で最長90分まで設定できます。

リモコンのみ

SLEEPキーを繰り返し押して、何分後に電源を切るかを選ぶ

一回押すごとに10分ずつ増えていきます。

10→20 … 80→90→消灯→10 …

残り時間を確認する

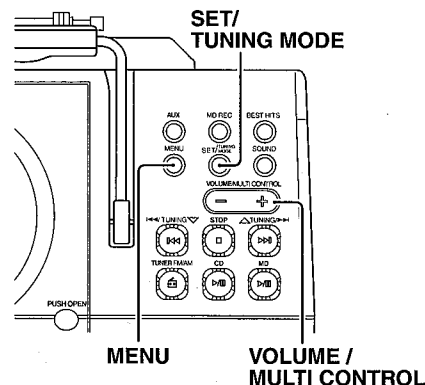
おやすみタイマー実行中にSLEEPキーを押します。

おやすみタイマーを解除する

SLEEPキーを繰り返し押して、"SLEEP"を消灯させます。

自動的に電源を切る

(A.P.S. = AUTO POWER SAVE)

CDやMDなどのすべてが停止状態のときや、入力切り換えが"TUNER"または"AUX"に設定されていて音量が"0"のときに、30分以上放置すると自動的に電源を切れるように設定することができます。電源の切り忘れを防止するために便利です。

本体のみ

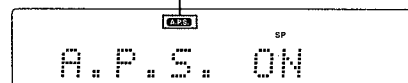
1 MENUキーを押す

2 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"A.P.S. SET?"を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

"A.P.S."が点滅

3 VOLUME/MULTI CONTROLキーを押して、"ON"(入)または"OFF"(解除)を選び、SET/TUNING MODEキーを押す

"ON"(入)を選んだとき

"A.P.S."が点灯

知っておきましょう

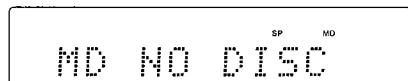
結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

移動時の注意点

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

(1) CD、MDを取り出します。
(2) MD▶/❚❚キーを押す。
(3) しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

```
SP  MD
MD NO DISC
```

(4) CD▶/❚❚キーを押す。
(5) しばらく待って、表示部が図の表示になったことを確かめてください。

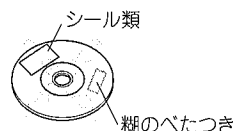
```
CD
SP
CD NO DISC
```

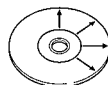
(6) 数秒間待って、電源を切ります。

ディスクの取り扱いかた

ディスク取扱上のご注意

再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

本機で使用できるディスクについて

CD(12cm、8cm)、CDVとCD-G(CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。
ディスクレーベル面に[COMPACT DISC DIGITAL AUDIO]のマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

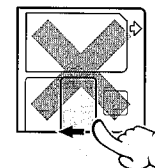
ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。

クランピングエリア

シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがしたあと、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

MDの取り扱いかた

MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

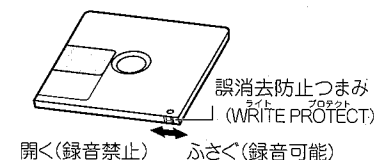
置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

本機の中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDを本機から取り出してください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたほこりやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみ(WRITE PROTECT)を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

ミニディスク裏面

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ(静止画等)を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

次ページに続く→

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

メモリーバックアップ

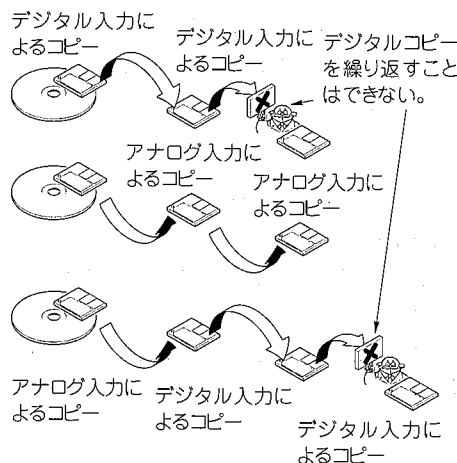
電源プラグをコンセントから抜くと消えるメモリーの内容

ー時計表示（3分間バックアップ）

電源プラグをコンセントから抜くと最低1日で消えるメモリーの内容

- **アンプ部**
  - ー入力切り換え
  - ー音量
  - ー外部入力レベル
  - ー低音、高音、調整
  - ータイマーの設定内容
- **チューナー部**
  - ー受信バンド
  - ー周波数
  - ープリセット放送局
  - ーオート選局の設定
- **MD部**
  - ー録音モード
  - ー録音速度

デジタル録音とSCMSについて

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話（03）5353-0336
FAX.（03）5353-0337

故障かな?と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源が入っているときに、接続コードを抜き差ししたり、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作することがあります。このようなときは、リセットしてみてください。

電源コードのプラグをコンセントから抜き、ON/STANDBY I/⏻ キーを押しながら電源コードのプラグを差し込みます。マイコンが初期状態になり、記憶されていた内容は消去されます。

共通部

症状	対策
音が出ない。	→ 音量を上げる。（17ページ） → ヘッドホンが差し込まれているときは抜く。（12ページ）
ヘッドホンから音がでない。	→ ヘッドホンプラグが正しく差込まれているか確認する。（12ページ）
雑音が入る。	→ アンテナを道路から離れた場所に設置する。（11ページ） → 電気器具の電源を切ってみる。 → テレビやパソコンから離す。

アンプ／スピーカー部

症状	対策
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	→ 現在時刻をもう一度合わせる。（13ページ）
タイマーが作動しない。	→ 現在時刻を合わせていない、または停電があった。現在時刻を合わせる。（13ページ） → タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。（52～58ページ）
放送局が受信できない。	→ 付属のAMループアンテナをAM ANTENNA端子に接続する。（11ページ） → FMロッドアンテナを引き伸ばして、受信状態の良い方向に向ける。（11ページ） → 放送バンドを合わせる。（14～15ページ） → 受信したい放送局の周波数に合わせる。（15ページ）
プリセットしたあと、リモコンの⏮P.CALLキーまたは⏭P.CALLキーを押しても放送局を受信できない。	→ 受信できる周波数の放送局をプリセットする。（14-15ページ） → 長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。もう一度プリセットする。（14～15ページ）

次ページに続く→

リモコン部

症状	対策
リモコンで操作できない。	→ 新しい乾電池に交換する。（10ページ） → 操作する位置が遠すぎる、または障害物がある。リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作する。（10ページ）

MDレコーダー部（MD規格上の症状）

症状	対策
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	→ 消去された曲が短い場合は、記録可能時間が増えないことがあります。 → 編集を繰り返したMDの場合、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	→ 編集を繰り返したMDの場合、曲をつなげないことがあります。
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間と一致しない。	→ 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	→ 編集を繰り返したMDの場合、音が途切れることがあります。
"MD READING（リーディング）"が表示される時間が長い。	→ 新品の録音用MD（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間"MD READING（リーディング）"が表示されます。

MDレコーダー部

症状	対策
再生キーを押しても音が出ない	→ 録音済みのMDを入れる。
録音ができない	→ 誤消去防止つまみを元に戻す。（61ページ） → 入力切り換えを録音したい音楽ソースにする。（37ページ） → 大音量で録音を行なうとMD再生時、音飛びが発生することがあります。録音時は音量を少し下げてください。
録音レベルが低い（AUX使用時）	→ 外部入力（AUX INPUT（インプット））レベルを調節する。（29ページ）
音がひずむ	→ 録音レベルの設定をしていない。（AUX使用時） 外部入力（AUX INPUT（インプット））レベルを調節する。（29ページ）

CDプレーヤー部

症状	対策
再生キーを押しても音が出ない。	→ CDを正しく入れる。（16ページ） → 「ディスク取扱上のご注意」を参照し、ディスクを清掃する。（60～61ページ） → 「結露にご注意」を参照し、露を蒸発させる。（60ページ）
音が飛ぶ。	→ 「ディスク取扱上のご注意」を参照し、ディスクを清掃する。（60～61ページ） → CDに傷がついていないか確認する。 → 振動のない場所に設置する。

メッセージ表示の一覧

メッセージ		意味
BLANK DISC	→	何も録音されていないMDです。
BUFFER OVER	→	74分以内に81曲以上のCDを倍速録音しようとしている。
CAN'T EDIT	→	長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。
CD LID OPEN	→	CDのドアが開いている。
CD NO DISC	→	CDが入っていない。
DISC ERROR	→	UTOC* の内容が異常である。"ALL ERASE"を行う。(50ページ) それができないときは、MDを取り換える。
DISC FULL	→	録音可能なエリアがないか、256曲目を録音しようとしている。録音用のMDを入れ換える。一枚のディスクには256曲以上録音できません。
FULL	→	Q.ERASE、Q.MOVEで33曲目を選択しようとしている。
MD NO DISC	→	MDが入っていない。
MD READING	→	TOC* 情報を読み込んでいる。
MD WRITING	→	編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
NO TRACKS	→	曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。
PGM FULL	→	CDまたはMDのプログラムで33曲目を選択しようとしている。
PLAY ONLY	→	再生専用のMDに録音しようとしている。録音用のMDを入れる。
PROTECTED	→	MDが"録音禁止"されている。"録音可能"にする。(61ページ)
TITLE FULL	→	最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。
SCMS	→	SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。録音できません。

* すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC(Table of Contents)という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
TOC 以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証とアフターサービス

保証書 (別途添付)
製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の保有期間
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
当社は、このステレオの補修用性能部品を製造打ち切り後8年間保有しております。

シリアル番号について
システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは
「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は
保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理
「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等もあわせてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは
保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み
(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)
- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話 (　　　)　　-

定格

アンプ部

実用最大出力 .... 3.5W＋3.5W（EIAJ 4Ω）

チューナー部

FMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 76 MHz～108 MHz
AMチューナー部
　受信周波数範囲 ...... 531 kHz～1,629 kHz

MDレコーダー部

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 .... ATRAC、ATRAC 3
D/Aコンバーター .... 1 Bit
ワウ・フラッター（EIAJ） .... 測定限界以下

CDプレーヤー部

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
D/Aコンバーター .... 1 Bit
オーバーサンプリング周波数
.... 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (EIAJ) .... 20 Hz～20kHz
ワウ・フラッター (EIAJ) .... 測定限界以下

スピーカー部

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカーユニット .... 80 mm コーン型

電源部・その他

電源電圧・電源周波数
.... AC100 V, 50Hz/60 Hz
定格消費電力
（電気用品取締法に基づく表示）............... 29 W
最大外形寸法 .... 幅　386 mm
（突起物含む）　高さ　146 mm
　奥行　189 mm
質量（重量）..................................... 5.6 kg（正味）

POINT

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

各部の名前

本体部

1. STANDBY/TIMER（スタンバイ/タイマー）インジケーター(71)
2. ON/STANDBY（オン/スタンバイ） I/⏻
3. MD挿入口(18)
4. ≙EJECT（イジェクト）(MD取り出し)(19)
5. リモコン受光部(10)
6. AUX(24)
7. MD REC（レコーディング）(37)
8. BEST HITS（ベスト ヒッツ）(40)
9. MENU（メニュー）(13)
   SET／TUNING MODE（セット／チューニング モード）(13)
   SOUND（サウンド）(28)
10. CDドア(16)
11. PUSH OPEN（プッシュ オープン）
    (CD取り出し)(16)
12. |◀◀、▶▶|（スキップ）
    △、▽TUNING（チューニング）(21)
    □STOP（ストップ）(停止)(16)
    TUNER（チューナー） FM/AM(14)
    CD ▷/II（再生/一時停止）(16)
    MD ▷/II（再生/一時停止）(18)
13. VOLUME/MULTI CONTROL（ボリューム/マルチ コントロール）
    (-/+)

カッコ内の数字は参照ページです。

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

STANDBY/TIMER（スタンバイ/タイマー）インジケーターの表示と本機の状態

インジケーターの状態	本機の状態
消灯	電源がオンの状態になっている。
赤色の点灯	電源コードを壁のコンセントにつないでスタンバイ状態になっている。
緑色の点灯	タイマーが実行状態になっている。
緑色の点滅	タイマーの設定エラー、または時計を合わせないでタイマーを設定しようとした。停電などによりタイマーが正しく実行されなかった。
赤色の点滅	電気系統の故障です。点検、修理を販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。